

厚生労働科学研究費補助金
がん対策推進総合研究事業

研究課題名（課題番号）
環境要因・遺伝要因との統合解析による肺がん罹患リスクの検証と能動・受動喫煙に関する行動変容に資するエビデンスの構築（H29-がん対策一般-025）

平成 3 1 年度 総括研究報告書

研究代表者 河野 隆志

平成 3 1（2 0 1 9）年 3 月

厚生労働科学研究費補助金研究報告書
目 次

I. 厚生労働科学研究費総括研究報告書 環境要因・遺伝要因との統合解析による肺がん罹患リスクの検証と能動・受動喫煙に関する 行動変容に資するエビデンスの構築 河野 隆志	3
II. 研究報告書（業務項目） ①喫煙量依存的な肺がんリスクを規定する遺伝素因の同定 河野隆志、白石航也、松尾恵太郎、伊藤秀美、松田文彦、桃沢幸秀、醍醐弥太郎、島津 太一、片野田耕太	4
②受動喫煙により感受性を示す肺がんリスク素因の同定 ②-1. 受動喫煙に関する情報整理 河野隆志、白石航也、松尾恵太郎、伊藤秀美、松田文彦、桃沢幸秀、醍醐弥太郎、島津 太一、片野田耕太	9
③がん組織中で認められる体細胞変異シグネチャーと遺伝素因との関連の検討 河野隆志、白石航也	10
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	11

厚生労働科学研究費
がん対策推進総合研究事業（総括）研究報告書

環境要因・遺伝的要因との統合解析による肺がん罹患リスクの検証と能動・受動喫煙に関する行動変容に資するエビデンスの構築

研究代表者 河野隆志 | 国立がん研究センター

研究要旨：

喫煙と交互作用する遺伝的要因を同定するため多施設共同研究実施体制を構築し、各施設からのゲノム情報並びに診療情報を統合した。また各施設から得られたデータを元に全ゲノム関連解析や体細胞変異シグネチャー解析等を行った。

- ① 喫煙量依存的な肺がんリスクを規定する遺伝素因の同定
- ② 受動喫煙により感受性を示す肺がんリスク素因の同定
国立がん研究センター 分野長 河野隆志
国立がん研究センター ユニット長 白石航也
愛知県がんセンター 分野長 松尾恵太郎
愛知県がんセンター 分野長 伊藤秀美
京都大学大学院 教授 松田文彦
理化学研究所 チームリーダー 桃沢幸秀
東京大学 特任教授 醍醐弥太郎
国立がん研究センター 室長 島津太一
国立がん研究センター 部長 片野田耕太
- ③ がん組織中で認められる体細胞変異シグネチャーと遺伝素因との関連の検討
国立がん研究センター 分野長 河野隆志
国立がん研究センター ユニット長 白石航也

A. 研究目的

肺発がんリスクにおいて能動・受動喫煙と交互作用する遺伝子座を同定する。さらに国民に能動・受動喫煙に関する行動変容を促すためのエビデンスを得る。

B. 研究方法

本研究に必要な診療情報である年齢、性別、組織型情報の他に、喫煙歴（非喫煙、過去喫煙、現在喫煙）と喫煙量（1日の喫煙本数と喫煙期間）や受動喫煙の有無に関する診療情報の統合を行った。さらに各施設（理研/東大、国がんセ、京大/愛知県がんセ）で保有している既存のSNPデータを用いて、16,103例の肺がん症例と151,656例の非がんコントロールに対して全ゲノム関連解析を実施した。層別化解析として、全肺腺がん、喫煙者・非喫煙者別での関連解析や喫煙量との交互作用を検討した。がん組織中で認められる体細胞変異シグネチャーを検出するため、女性非喫煙者肺腺がん症例48例（10歳代・30歳代に受動喫

煙を全く暴露されていない24例と10歳代・30歳代に受動喫煙を毎日暴露した24例）を抽出した。それらの症例由来凍結がん組織・非がん組織検体よりDNAを抽出し、全エクソンシーケンセスを実施し、体細胞変異シグネチャー解析を実施した。

（倫理面への配慮）

「ゲノム倫理指針」に従って、試料提供者のプライバシーを保護する。

C. 研究結果

全肺腺がんを対象とした全ゲノム関連解析の結果、複数個所に新規感受性遺伝子座を同定した。さらに層別化した関連解析の結果、候補となる感受性遺伝子座を同定した。体細胞変異シグネチャー解析については、受動喫煙暴露群と非暴露群で比較したところ、有意差はないが、非暴露群で高い傾向を示す体細胞シグネチャーが得られた。

D. 考察

研究計画は順調に推移している。計画通り、関連解析を実施し新規感受性遺伝子座を含む候補感受性遺伝子座を同定している。来年度検証セットを用いて、再現性が得られるかどうかを検討する。また非喫煙者女性肺腺がんの内、受動喫煙を受けている24例と受けていない24例での遺伝子変異の蓄積の度合いについて、全エクソンシーケンセス解析を実施し、がん組織中で認められる体細胞変異シグネチャーが得られた。来年度はさらに症例数を増やしても、結果が再現されるかどうか検証する予定である。

E. 結論

全肺腺がんに対する全ゲノム関連解析で新規感受性遺伝子座を同定し、層別化解析で得られた候補感受性遺伝子座の検証を進めている。また体細胞変異シグネチャー解析において、候補となるシグネチャーを見出した。

F. 研究発表（論文・学会発表）

研究成果の刊行に関する一覧表を参照

厚生労働科学研究費
がん対策推進総合研究事業（業務項目）研究報告書

①喫煙量依存的な肺がんリスクを規定する遺伝素因の同定

研究分担者 河野隆志、白石航也、島津太一、片野田耕太（国立がん研究センター）、
桃沢幸秀（理化学研究所）、松田文彦（京都大学）、松尾恵太郎、伊藤秀美（愛知県がんセンター）、
醍醐弥太郎（東京大学）

研究要旨：

各施設で既に取得されているゲノム情報を用いて全ゲノムインピュテーションを行い、年齢、性別、喫煙情報等の診療情報を収集した。喫煙との交互作用の検討やメタ解析を通してゲノム網羅的な関連解析を実施し、新規・候補となる感受性遺伝子座を同定した。

A. 研究目的

早期診断・外科治療のための高危険度群の捕捉が、肺がん死減少のための最も有効な手段である。喫煙は肺発がんリスクを規定する主要因であり、受動喫煙によっても本邦肺発がんリスクの1.3倍の上昇が示されている。したがって、喫煙による肺がんの罹患を効率よく減少させるため、本邦の政策の基盤となる「個別化肺がん予防効果の明確なエビデンス」が求められている。本研究では、肺発がんリスクにおいて喫煙と交互作用する遺伝要因を用いて能動/受動喫煙者の肺発がん絶対リスクを評価し、超高危険度群（相対危険度5以上）を把握することを目的とする。

B. 研究方法

各施設（理研/東大、国がんセ/BBJ、京大/愛知県がんセ）が保有している既存のSNPデータを用いてゲノム網羅的な関連解析を行い、候補感受性遺伝子座の同定を行った。具体的には、全肺腺がん・喫煙者・非喫煙者別での関連解析や喫煙量との交互作用を検討した。得られた候補感受性遺伝子に対して多施設で収集された症例を用いて検証研究を実施した。検証研究に用いた肺腺がん症例は10,000例を越え、十分な症例数を確保した。また能動・受動喫煙の情報が得られている症例の収集も合わせて行った。さらに最近、約16万人からなる日本人を対象とした喫煙習慣との相関解析を実施した報告がなされ（Matoba et al., Nat Hum Behav. 2019）、7つの喫煙習慣と関わる感受性遺伝子座（1日の喫煙本数と相関：*EPHX2-CLU*, *RET*, *CUX2-ALDH2*、喫煙開始との相関：*DLC1*, *CXCL12-TMEM72-ASI*, *GALRI-SALL3*, *LINC01793-MIR4432HG*）が同定された。そこで本研究でも喫煙習慣と発がんリス

クとの関連を検討した。

（倫理面への配慮）

「ゲノム倫理指針」に従って、試料提供者のプライバシーを保護する。

C. 研究結果

全肺腺がんリスクに関わる感受性遺伝子座を同定するため、16,103例の肺腺がん症例と151,656例の非がんコントロールからなる検証研究並びに検出研究を行ったところ、新規感受性遺伝子座として複数同定した。さらに喫煙者・非喫煙者別での関連解析や喫煙量との交互作用を検討した。しかし、 $P_{interaction}$ 値が 10^{-8} レベルを示す感受性遺伝子座は同定されなかった。また既報の喫煙習慣と相関する遺伝子多型は、肺がんリスクには強く関連しなかった。

D. 考察&結論

今回の解析結果は、日本人集団においては過去最大の症例数を用いた関連解析であり、複数の新規感受性遺伝子を同定した。来年度は、喫煙量と交互作用する候補感受性遺伝子座に対して、検証研究を用いて新規感受性遺伝子座の同定を目指す。今後これらのデータは、リスクモデリングを構築するために必要なものであり、今後肺がんに対する高危険度群捕捉手法の確立が期待される。

F. 研究発表

論文発表・学会発表

研究成果の刊行に関する一覧表を参照

G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

研究報告書補足資料

課題名：喫煙量依存的な肺がんリスクを規定する遺伝素因の同定

共同研究者：

国立がん研究センター：河野隆志、白石航也、島津太一、片野田耕太

理化学研究所：桃沢幸秀

京都大学：松田文彦

愛知県がんセンター：松尾恵太郎、伊藤秀美

東京大学：醍醐弥太郎

方法・結果：

遺伝子型情報がある症例を用いた全ゲノム関連解析の集団化の検討が完了し、肺腺がん（図1）、非喫煙者肺腺がん（図3）、喫煙者肺腺がん（図4）、喫煙習慣との交互作用に関する相関解析（図5）を実施した。その結果、肺腺がんについては、複数の新規感受性遺伝子座を同定しており（図2）、検証研究を実施してもその関連は再現された。一方で、非喫煙者肺がん、喫煙者肺がん、喫煙習慣との交互作用に関する相関解析については、検出研究だけでGWAS レベル（ 5×10^{-8} ）を下回る多型は認められなかったが、候補となる感受性遺伝子座を複数同定した。また既報の喫煙習慣と相関があった多型は、肺腺がんリスクと強い関連は示さなかった（表1）。

考察：

本研究を通して、複数の新規感受性遺伝子座並びに候補となる感受性遺伝子座を同定した。来年度は検出研究を実施し、原因多型の同定を行う。また公開データベースの活用も検討する。

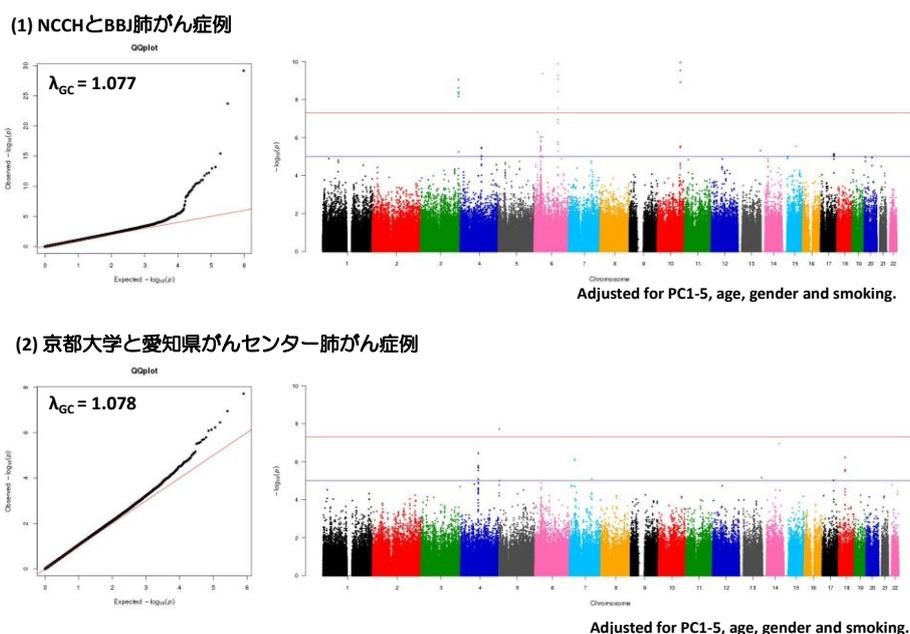


図1. 肺腺がんに対する全ゲノム関連解析の結果
マンハッタンプロットは、横軸が染色体別を示し、縦軸は関連の強さを示す。

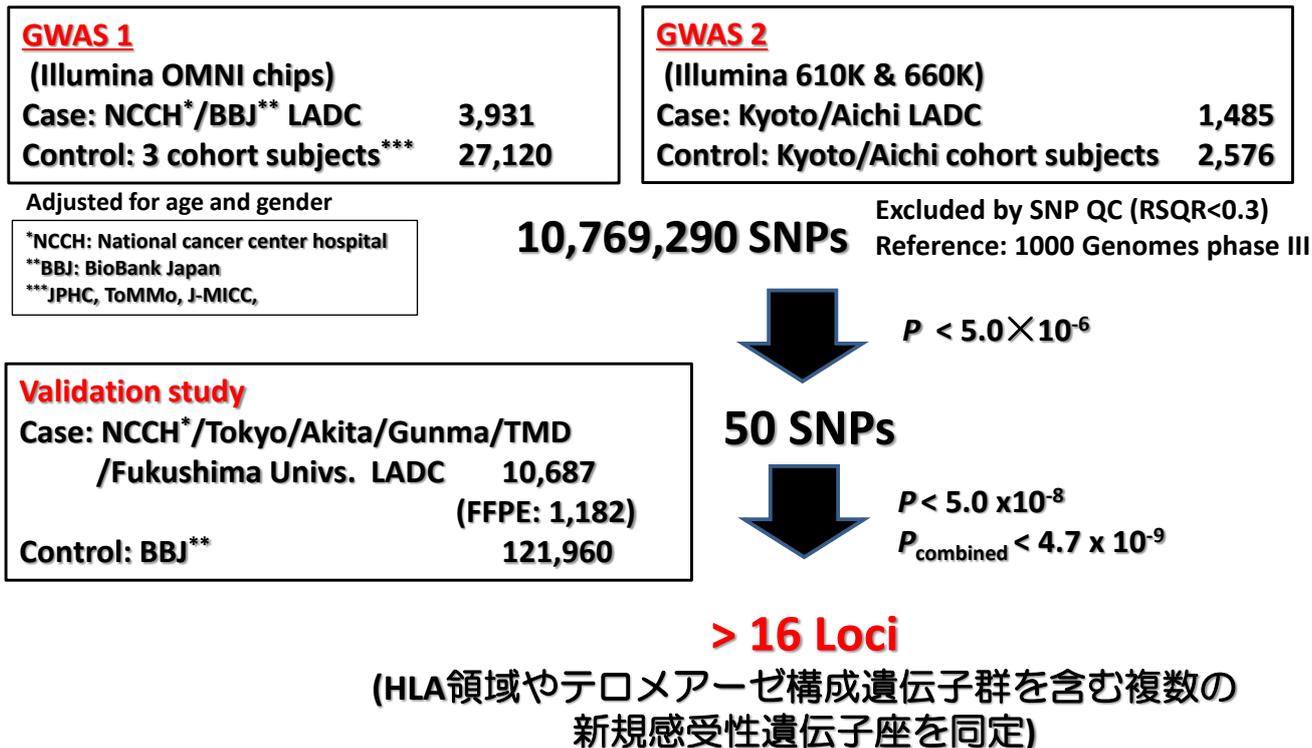
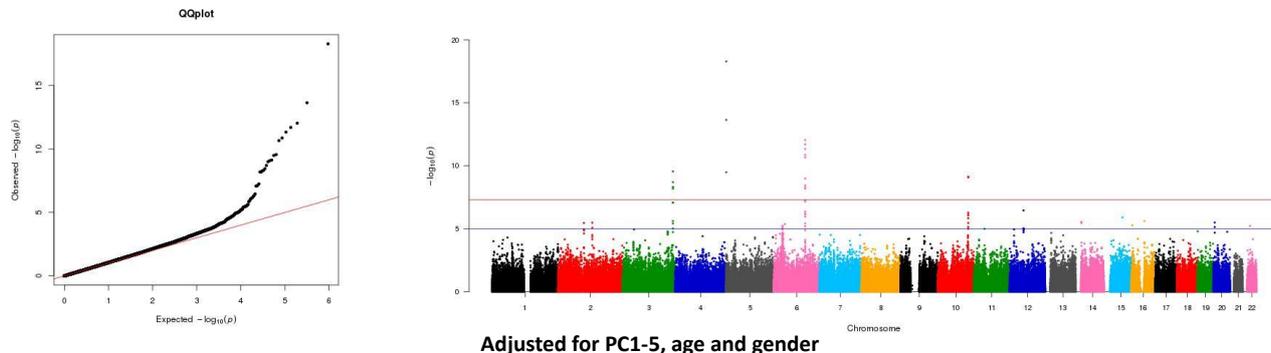


図2 肺腺がんに対する検出・検証研究の流れ

(1) NCCHとBBJ非喫煙者肺がん症例



(2) 京都大学と愛知県がんセンター非喫煙者肺がん症例

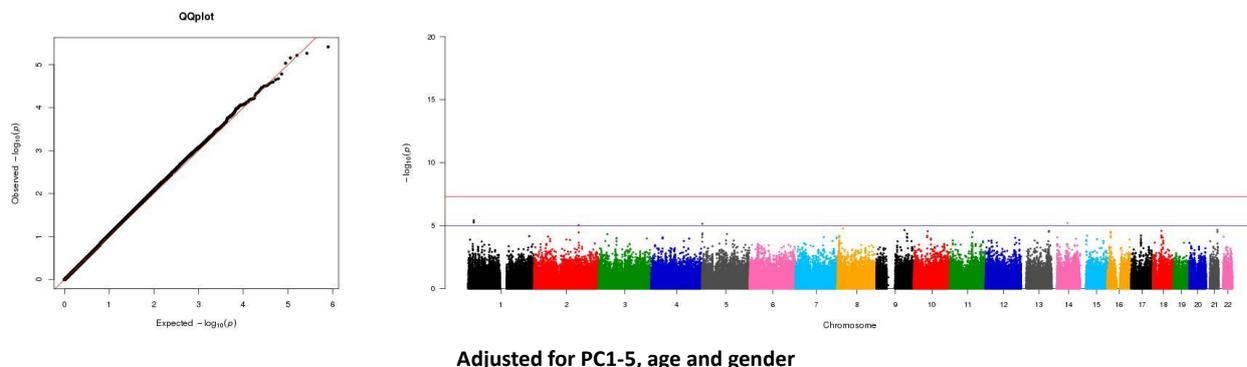
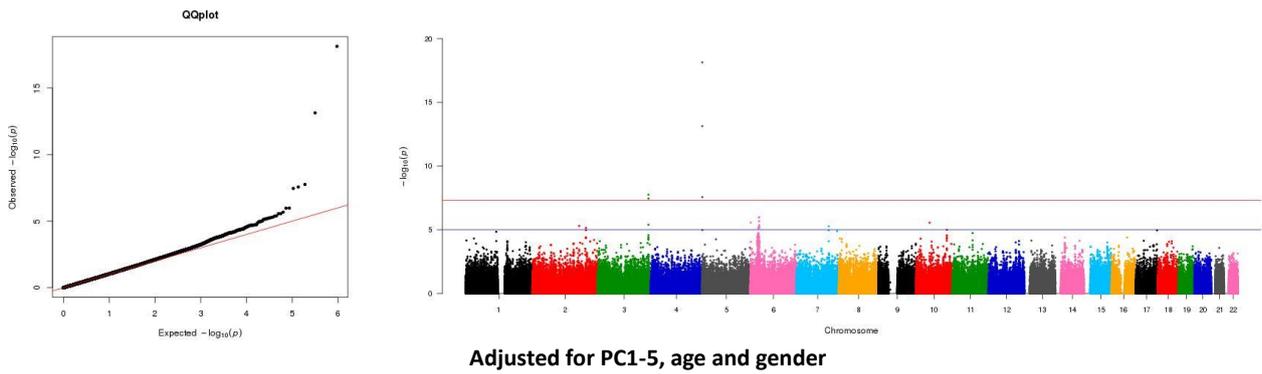


図3. 非喫煙者肺がんに対する全ゲノム関連解析の結果

(1) NCCHとBBJ喫煙者肺がん症例



(2) 京都大学と愛知県がんセンター喫煙者肺がん症例

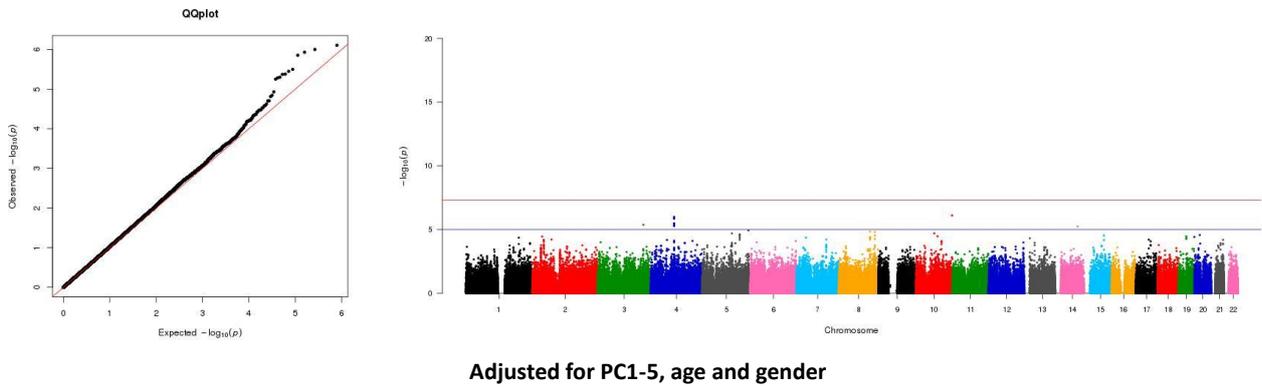
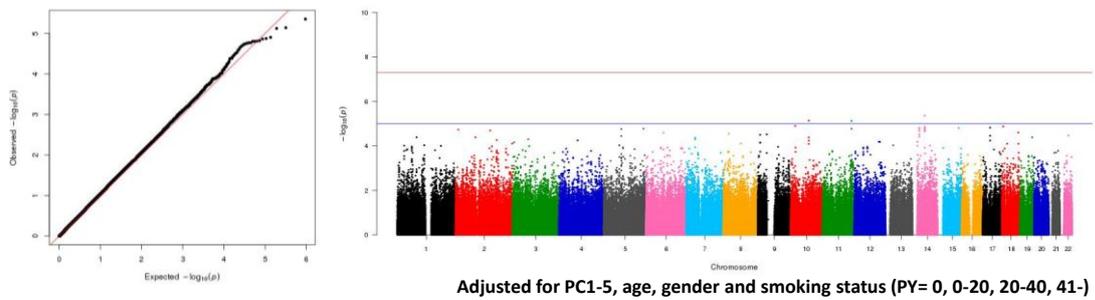


図4. 喫煙者肺がんに対する全ゲノム関連解析の結果

(1) NCCHとBBJ肺がん症例



(2) 京都大学と愛知県がんセンター肺がん症例

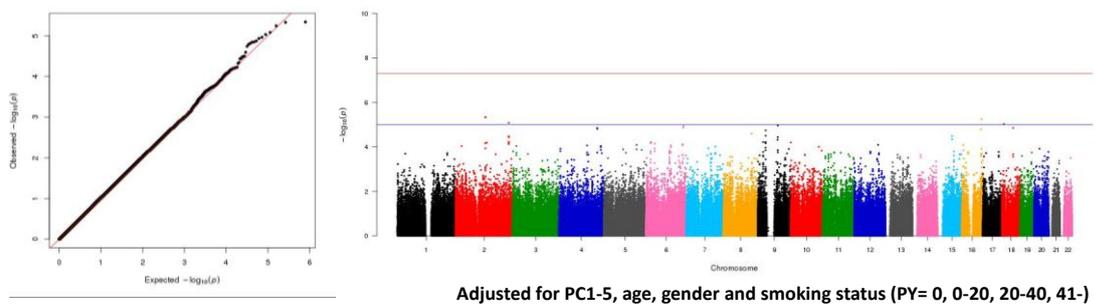


図5. 全ゲノム関連解析による喫煙量との交互作用の検討

SNP ID	Chr.	Position	Ref	Alt	BBJ+NCC cases/3 cohort controls					Kyodai+Aichi cases/3 cohort controls						
					Minor allele frequency		Allelic OR	95% CI		P value	Minor allele frequency		Allelic OR	95% CI		P value
					Case	Ctrl		Lower	Upper		Case	Ctrl		Lower	Upper	
(1) All subjects																
rs117036946	8	13287799	A	G	0.029	0.030	0.94	0.80	1.09	0.38	0.029	0.027	1.13	0.79	1.60	0.51
rs117097449	10	45182721	C	T	0.090	0.096	0.94	0.86	1.03	0.17	0.081	0.074	1.12	0.91	1.37	0.29
rs77105140	18	75028535	A	G	0.017	0.018	1.04	0.85	1.28	0.67	0.019	0.015	1.41	0.91	2.19	0.13
rs6718569	2	59605011	T	C	0.115	0.112	0.99	0.91	1.07	0.75	0.110	0.118	0.93	0.78	1.11	0.42
rs78277894	8	27429192	G	A	0.327	0.333	0.95	0.90	1.00	0.041	0.323	0.332	0.90	0.80	1.01	0.076
rs2435355	10	43624833	T	C	0.193	0.196	0.97	0.91	1.04	0.41	0.202	0.203	1.00	0.88	1.15	0.95
rs79105258	12	111718231	C	A	0.288	0.251	1.07	1.01	1.14	0.018	0.333	0.309	1.08	0.96	1.22	0.22
rs13329271	15	78914230	A	C	0.496	0.482	0.95	0.90	1.00	0.036	0.504	0.492	1.01	0.90	1.12	0.91
rs56129017	19	41416948	C	T	0.274	0.262	1.07	1.01	1.13	0.019	0.277	0.259	1.09	0.97	1.24	0.16
(2) Never-smoker																
rs117036946	8	13287799	A	G	0.026	0.031	0.83	0.66	1.05	0.12	0.033	0.029	1.08	0.69	1.71	0.73
rs117097449	10	45182721	C	T	0.091	0.095	0.97	0.85	1.11	0.68	0.090	0.072	1.16	0.88	1.53	0.28
rs77105140	18	75028535	A	G	0.018	0.018	1.08	0.81	1.45	0.60	0.018	0.016	1.14	0.63	2.05	0.67
rs6718569	2	59605011	T	C	0.113	0.109	0.98	0.87	1.10	0.71	0.107	0.110	1.02	0.79	1.30	0.90
rs78277894	8	27429192	G	A	0.336	0.332	0.98	0.91	1.06	0.66	0.324	0.332	0.95	0.81	1.11	0.52
rs2435355	10	43624833	T	C	0.195	0.203	0.96	0.88	1.06	0.45	0.195	0.212	0.91	0.76	1.10	0.33
rs79105258	12	111718231	C	A	0.277	0.256	1.00	0.92	1.09	0.99	0.324	0.306	1.09	0.93	1.28	0.30
rs13329271	15	78914230	A	C	0.484	0.482	0.98	0.91	1.06	0.66	0.469	0.491	1.12	0.97	1.29	0.13
rs56129017	19	41416948	C	T	0.265	0.269	1.00	0.92	1.09	0.91	0.257	0.256	1.06	0.90	1.26	0.49
(3) Smoker																
rs117036946	8	13287799	A	G	0.030	0.030	0.96	0.76	1.22	0.76	0.026	0.025	1.21	0.70	2.09	0.49
rs117097449	10	45182721	C	T	0.089	0.095	0.96	0.84	1.11	0.61	0.074	0.077	1.05	0.77	1.42	0.76
rs77105140	18	75028535	A	G	0.017	0.015	1.05	0.76	1.47	0.76	0.020	0.012	1.97	1.00	3.87	0.045
rs6718569	2	59605011	T	C	0.119	0.113	1.05	0.92	1.19	0.49	0.112	0.130	0.83	0.64	1.07	0.15
rs78277894	8	27429192	G	A	0.320	0.330	0.90	0.83	0.98	0.013	0.322	0.331	0.86	0.72	1.02	0.083
rs2435355	10	43624833	T	C	0.191	0.193	1.02	0.92	1.13	0.69	0.208	0.190	1.15	0.94	1.39	0.17
rs79105258	12	111718231	C	A	0.297	0.275	1.07	0.98	1.17	0.13	0.340	0.313	1.07	0.90	1.28	0.46
rs13329271	15	78914230	A	C	0.508	0.491	0.90	0.83	0.98	0.011	0.470	0.507	0.88	0.75	1.03	0.12
rs56129017	19	41416948	C	T	0.282	0.262	1.15	1.05	1.25	0.0029	0.292	0.262	1.12	0.93	1.34	0.22

表 1. 既報で喫煙習慣との相関が報告されている遺伝子多型と肺がんリスクとの関連

厚生労働科学研究費
がん対策推進総合研究事業（業務項目）研究報告書

②受動喫煙により感受性を示す肺がんリスク素因の同定

研究分担者 河野隆志、白石航也、島津太一、片野田耕太（国立がん研究センター）、
桃沢幸秀（理化学研究所）、松田文彦（京都大学）、松尾恵太郎、伊藤秀美（愛知県がんセンター）、
醍醐弥太郎（東京大学）

研究要旨：

候補となる感受性遺伝子を絞り込んだ後の検証研究用の症例を確保するため、能動・受動喫煙に関する情報が得られる肺がん症例並びに健常群の抽出を行う必要がある。本研究では検出研究に用いる症例の絞込みを行うとともに、体細胞変異シグネチャーを検出するための症例集出を行った。

A. 研究目的

早期診断・外科治療のための高危険度群の捕捉が、肺がん死減少のための最も有効な手段である。喫煙は肺がんリスクを規定する主要因であり、受動喫煙によっても本邦肺がんリスクの1.3倍の上昇が示されている。したがって、喫煙による肺がんの罹患を効率よく減少させるため、本邦の政策の基盤となる「個別化肺がん予防効果の明確なエビデンス」が求められている。本研究では、肺がんリスクにおいて喫煙と交互作用する遺伝的要因を用いて能動/受動喫煙者の肺がん絶対リスクを評価し、超高危険度群（相対危険度5以上）を把握することを目的とする。

B. 研究方法

各施設（理研/東大、国がんセ/BBJ、京大/愛知県がんセ）で保有している既存のSNPデータを用いてゲノム網羅的な関連解析を行い、新規感受性遺伝子座の同定を行う。但し、症例数に限りがあり、全ゲノム関連解析を実施するために必要な症例数の確保は難しい。そこで、喫煙との交互作用が認められた原因多型を同定した後に、受動喫煙を暴露されている群とされていない群での比較検討を行った。

多施設で収集された症例を用いて検証研究を実施するため、国立がん研究センターと愛知県がんセンターが中心となり、受動喫煙の情報が得られている症例の収集も合わせて行った。既に検出・検証研究として収集されている症例に関して、受動・能動喫煙に関する診療情報を収集し、統合した。具体的には、各施設で取られている質問票にある記載事項を用いた。質問事項等から受動喫煙の情報が得られる施設は多く

なく、国立がん研究センターを初めとして、愛知県がんセンター、京都大学、群馬大学であった。

（倫理面への配慮）

「ゲノム倫理指針」に従って、試料提供者のプライバシーを保護する。

C. 研究結果

国立がん研究センターを中心となり、受動喫煙の情報が得られている施設の症例を確認した。国立がん研究センターで登録された肺腺がん症例は5,000例であり、その内受動喫煙の情報が得られた症例は約2,000例であった。また他施設についても同様に確認したところ、受動喫煙情報を伴う肺腺がん症例約1,000例を確認した。

D. 考察 & 結論

現状では検証研究を行うために必要な症例数の確保には至っているが、より検出力の高い研究を実施するため、引き続き来年度追加症例の収集を進める。また新規登録症例を増やすことで、③で進めているがん組織中で認められる体細胞変異シグネチャーと遺伝素因との関連の検討も用いる予定である。

E. 研究発表

1. 論文発表

研究成果の刊行に関する一覧表を参照

2. 学会発表

なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

なし

厚生労働科学研究費
がん対策推進総合研究事業（業務項目）研究報告書

③がん組織中で認められる体細胞変異シグネチャーと遺伝素因との関連の検討

研究分担者 河野隆志、白石航也（国立がん研究センター）

研究要旨：

能動、もしくは受動喫煙高危険度群において、喫煙による体細胞変異シグネチャーが腫瘍ゲノムに顕著に蓄積していることを示すため、女性非喫煙者肺腺がん症例に着目し、受動喫煙を暴露した群と暴露していない群の抽出を行った。48例について全エクソシークエンス解析を実施し、特徴的な体細胞変異シグネチャーが得られた。

A. 研究目的

早期診断・外科治療のための高危険度群の捕捉が、肺がん死減少のための最も有効な手段である。喫煙は肺がんリスクを規定する主要因であり、受動喫煙によっても本邦肺がんリスクの1.3倍の上昇が示されている。したがって、喫煙による肺がんの罹患を効率よく減少させるため、本邦の政策の基盤となる「個別化肺がん予防効果の明確なエビデンス」が求められている。本研究では、能動、もしくは受動喫煙高危険度群において、喫煙による体細胞変異シグネチャーが腫瘍ゲノムに顕著に蓄積していることを示すことを目的とする。

B. 研究方法

2011～2016年に国立がん研究センター中央病院にて、病理学的に肺腺がんと診断された1,528例に対し受動喫煙の有無の情報を問診表（10歳代、30歳代、現在における週何日受動喫煙を受けているかの選択形式）から集計した。受動喫煙の影響を受けると考えられる非喫煙者に研究対象を絞り込んだところ、男性非喫煙者数が非常に少なかった。そこで、肺腺がんの約40%を占める女性非喫煙者に着目し研究対象とした。

女性非喫煙者肺腺がん症例の内、国立がん研究センター中央病院にて外科的手術を受け、かつ国立がん研究センターバイオバンクにて凍結組織検体が保存されていた女性非喫煙者肺腺がん症例約100例を選択した。

さらに上記の症例の内、48例（10歳代・30歳代に受動喫煙を全く暴露されていない24例と10歳代・30歳代に受動喫煙を毎日暴露した24例）を抽出した。48例について、非がん組織検体並びにがん組織検体よりDNAを抽出し、Agilent社SureSelectV5を用いて全エクソンの濃縮を行い、シークエンスランはIllumina社のHiSeq2500を用いて行っ

た。ヒトゲノムへのマッピングについては、GATK3.7のBest practiceに従って行い、ReferenceはGRCh37を用いた。体細胞変異のコールについては、MuTect2を用いて検出した。

（倫理面への配慮）

「ゲノム倫理指針」に従って、試料提供者のプライバシーを保護する。

C. 研究結果

1,528例の肺腺がん症例の内、非喫煙者489名の10歳代と30歳代の受動喫煙暴露状況を確認した。その結果、10歳代で週5日以上受動喫煙を暴露されていた方は全体の30%を占め、30歳代では全体の40%を占めた。女性非喫煙者肺腺がん症例に着目し、かつ凍結組織検体が保存されていた10歳代、30歳代でともに週5日以上受動喫煙を暴露された群と全く暴露されていない群それぞれ24例を選択し、全エクソシークエンス解析を行い、変異シグネチャーを算出した。

D. 結論・考察

能動もしくは受動喫煙群において、喫煙による体細胞変異シグネチャーが腫瘍ゲノムに顕著に蓄積している可能性が示唆された。来年度も引き続き解析症例数を増やして解析を行い、これらの結果が再現されるかどうか検証する予定である。

E. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

なし

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
該当なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yang JJ, Yu D, Wen W, ..., Matsuo K, ..., Ito H, ..., Potter JD, Zheng W.	Tobacco Smoking and Mortality in Asia: A Pooled Meta-analysis.	JAMA Network Open.	2(3)	e191474.	2019
Oze I, Ito H, Nishino Y, Hattori M, Nakayama T, Mivashiro I, Matsuo K, Ito Y.	Trends in Small-Cell Lung Cancer Survival in 1993-2006 Based on Population-Based Cancer Registry Data in Japan.	J Epidemiol.			2018
Brenner DR, Fehring G, ..., Matsuo K, Ito H, ..., Duell EJ, Andrew AS, Consonni D, Olsson A, Hung RJ, Straif K.	Alcohol consumption and lung cancer risk: A pooled analysis from the International Lung Cancer Consortium and the SYNERGY study.	Cancer Epidemiol.	58	25-32	2019
Zha L, Sobue T, Kitamura T, Kitamura Y, Sawada N, Iwasaki M, Sasazuki S, Yamaji T, Shimazu T, Tsugane S.	Changes in Smoking Status and Mortality From All Causes and Lung Cancer: A Longitudinal Analysis of a Population-based Study in Japan.	J Epidemiol.	29(1)	11-17	2019
Honda T, Sakashira H, Masai K, ..., Shiraishi K, ..., Kohno T.	Deleterious Pulmonary Surfactant System Gene Mutations in Lung Adenocarcinomas Associated With Usual Interstitial Pneumonia	JCO Precision Oncology			2018
Charvat H, Sasazuki S, Shimazu T, Budhathoki S, Inoue M, Iwasaki M, Sawada N, Yamaji T, Tsugane S	JPHC Study Group. Development of a risk prediction model for lung cancer: The Japan Public Health Center-based Prospective Study.	Cancer Sci.	109(3)	854-862	2018

2019年 4月 1日

厚生労働大臣 殿

機関名 国立研究開発法人国立
 所属研究機関長 職 名 理事長
 氏 名 中釜 斉

次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 環境要因・遺伝要因との統合解析による肺がん罹患リスクの検証と能動・受動喫煙に関する行動変容に資するエビデンスの構築
3. 研究者名 (所属部局・職名) 研究所 ゲノム生物学研究分野・分野長
 (氏名・フリガナ) 河野 隆志・コウノ タカシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立がん研究センター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立がん研究センター	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

厚生労働大臣 殿

機関名 国立研究開発法人国立がん研究センター
 所属研究機関長 職 名 理事長
 氏 名 中釜 斉

次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名: がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 環境要因・遺伝要因との統合解析による肺がん罹患リスクの検証と能動・受動喫煙に関する行動変容に資するエビデンスの構築
3. 研究者名 (所属部局・職名) 研究所 ゲノム生物学研究分野・ユニット長
 (氏名・フリガナ) 白石 航也・シライシ コウヤ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立がん研究センター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立がん研究センター	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

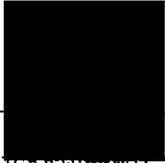
研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

機関名 愛知県がんセンター

所属研究機関長 職名 総長

氏名 高橋  印

次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 環境要因・遺伝要因との統合解析による肺がん罹患リスクの検証と能動・受動喫煙に関する行動変容に資するエビデンスの構築
3. 研究者名 (所属部局・職名) 研究所 がん予防研究分野 分野長
(氏名・フリガナ) 松尾 恵太郎・マツオ ケイタロウ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	愛知県がんセンター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	愛知県がんセンター	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・ 該当する□にチェックを入れること。
・ 分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

機関名 愛知県がんセンター

所属研究機関長 職名 総長

氏名 高橋 印

次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 2. 研究課題名 環境要因・遺伝要因との統合解析による肺がん罹患リスクの検証と能動・受動喫煙に関する行動変容に資するエビデンスの構築
- 3. 研究者名 (所属部局・職名) 研究所 がん情報・対策研究分野 分野長
(氏名・フリガナ) 伊藤 秀美・イトウ ヒデミ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	愛知県がんセンター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	愛知県がんセンター	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する口にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

平成31年3月19日

厚生労働大臣 殿

機関名 京都大学

所属研究機関長 職名 医学研究科

氏名 岩井 一彦

次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 2. 研究課題名 環境要因・遺伝要因との統合解析による肺がん罹患リスクの検証と能動・受動喫煙に関する行動変容に資するエビデンスの構築
- 3. 研究者名 (所属部局・職名) 医学研究科・教授
(氏名・フリガナ) 松田 文彦・マツダ フミヒコ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	京都大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

機関名 国立研究開発法人理化学研究所
 所属研究機関長 職名 理事長
 氏名 松本 紘

次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 環境要因・遺伝要因との統合解析による肺がん罹患リスクの検証と能動・受動喫煙に関する行動変容に資するエビデンスの構築
- 研究者名 (所属部局・職名) 生命医科学研究センター・チームリーダー
 (氏名・フリガナ) 桃沢 幸秀・モモザワ ユキヒデ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	理化学研究所	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	理化学研究所	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
 ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

機関名 国立大
 所属研究機関長 職名 総長
 氏名 五神

次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 環境要因・遺伝要因との統合解析による肺がん罹患リスクの検証と能動・受動喫煙に関する行動変容に資するエビデンスの構築
3. 研究者名 (所属部局・職名) 医科学研究所・特任教授
 (氏名・フリガナ) 醍醐 弥太郎・ダイゴ ヤタロウ
4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	東京大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
 ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2019年 4月 1日

厚生労働大臣 殿

機関名 国立研究開発法人国立がん研究センター

所属研究機関長 職 名 理事長

氏 名 中 釜 斉

次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 環境要因・遺伝要因との統合解析による肺がん罹患リスクの検証と能動・受動喫煙に関する行動変容に資するエビデンスの構築
3. 研究者名 (所属部局・職名) 社会と健康研究センター 予防研究部・室長
(氏名・フリガナ) 島津 太一・シマツ タイチ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立がん研究センター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する口にチェックを入れること。

機関名 国立研究開発法人
 所属研究機関長 職名 理事長
 氏名 中釜 斉

次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 環境要因・遺伝要因との統合解析による肺がん罹患リスクの検証と能動・受動喫煙に関する行動変容に資するエビデンスの構築
3. 研究者名 (所属部局・職名) がん対策情報センター・部長
 (氏名・フリガナ) 片野田 耕太・カタノダ コウタ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)